

千葉県袖ヶ浦福祉センター 養育園

福祉サービス第三者評価項目（障害福祉サービス）の評価結果					評価結果		
大項目	中項目	小項目		項目			
障害者・児施設	1 利用者の尊重	(1) 利用者の尊重		1 コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	A		
				2 利用者の主体的な活動を尊重している。	A		
				3 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	A		
				4 利用者のエンパワメントの理念に基づくプログラムがある。	A		
	2 日常生活支援	(1) 食事			5 サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	A	
					6 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	A	
					7 喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。	A	
		(2) 入浴				8 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	A
						9 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	A
						10 浴室・脱衣場等の環境は適切である。	A
		(3) 排泄				11 排泄介助は快適に行われている。	A
						12 トイレは清潔で快適である。	A
		(4) 衣服				13 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	A
						14 衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	A
		(5) 理容・美容				15 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	A
						16 理髪店や美容院の利用について配慮している。	A
		(6) 睡眠				17 安眠できるように配慮している。	A
		(7) 健康管理				18 日常の健康管理は適切である。	A
						19 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	A

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア研究所

千葉県袖ヶ浦福祉センター 養育園

			20	内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている。	A		
			(8)	余暇・レクリエーション	21	余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	A
			(9)	外出、外泊	22	外出・外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	A
			(10)	所持金・預り金の管理等	23	預かり金について、適切な管理体制が作られている。	A
					24	新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意思や希望に沿って利用できる。	A
					25	嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意思や希望が尊重されている。	A

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア研究所

障がい福祉項目

事業者名 千葉県袖ヶ浦福祉センター 養育園

(種別: 知的障害児施設)

評価基準	項目 番号	自己評価		訪問調査等による確認状況	評点
		a	b		
障害福祉サービス					
- 1 利用者の尊重					
- 1 - (1) 利用者の尊重					
- 1 - (1) - コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	1	a	筆記やマカトン法を使用。	日々の支援の中で個々の利用者に向けたコミュニケーションの取り方を職員が実施している様子を訪問時に見ることができた。言語とコミュニケーションの訓練法であるマカトン法に関して研修会を開催し、時間の都合がつけられる職員は全て参加をするように働きかけ、個別支援計画の中にもマカトン法を活用したコミュニケーションについて記載があるなど、日々の研鑽の状況は評価に値する。	A
		b			
		c			
- 1 - (1) - 利用者の主体的な活動を尊重している。	2	a	自治会がない。	利用者による自治会は組織されていないものの、個別面談等の場において、利用者が主体となって話し合うことを促す等、状況に応じて、主体的に何かに取り組むことのできるような働きかけを職員が行っている様子を、訪問時に確認することができた。	A
		b			
		c			
- 1 - (2) - 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	3	a	班会議で実施。	班会議において利用者の日々の状況は詳細に報告され、記録、共有化が図られている。訪問調査時においても常勤・非常勤を問わず職員が利用者の状況を把握し、支援にあたっている様子を見ることができた。	A
		b			
		c			
- 1 - (2) - 利用者のエンパワメント(力をつけること)の理念にもとづくプログラムがある。	4	a	個別支援計画書に記載。	個々の利用者の支援内容、個別の目標は個別支援計画書に記載されている。	A
		b			
		c			
- 2 日常生活支援					
- 2 - (1) 食事					
- 2 - (1) - サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	5	a	個々の児童状況に合わせた食事を提供。	食事において配慮すべき点等は個人別に取りまとめられており、その内容に応じた食事が提供されていることを確認できた。	A
		b			
		c			

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア研究所

評価基準		自己評価	訪問調査等による確認状況	評点
- 2 - (1) - 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	6	a b c	栄養士と利用者の懇談会を開催するとともに、毎月給食運営会議を開催しており、より良い食事サービスの提供を目指している姿が確認できた。今後は、嗜好調査等も行い、利用者の食べたいものがメニューに反映されるようになると更によいと思われる。	A
- 2 - (1) - 喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。	7	a b c	個々の利用者によって食事を開始する時間や支援する職員の配置に考慮する他、周りが気にならないよう向きを変えるなど、一人ひとりの利用者が安心して食事を楽しむことができるよう配慮している。食堂には、個別に留意する必要がある利用者の誘導方法が掲示されている	A
- 2 - (2) 入浴				
- 2 - (2) - 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	8	a b c	個別支援計画に個人の障害程度について記載されている他、日々の状況についても日誌に記録されており、職員間での情報の共有化が図られている。個別の入浴方法について配慮はなされているが、全職員がいつでも見られるように、業務手順がマニュアル整備されていると、更によいと思われる。	A
- 2 - (2) - 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	9	a b c	入浴については、利用者の希望に合わせて入浴できるよう弾力的に対応をしている。希望を表明できない利用者の意見も吸い上げられるよう、定期的に入浴も含めた生活希望調査を行うことも効果的かと思われる。	A
- 2 - (2) - 浴室・脱衣場等の環境は適切である。	10	a b c	訪問調査時に浴室、脱衣場の状況について確認することができた。入浴は利用者の障害程度に応じて職員が介助をしており、安全性に配慮しながら入浴支援を行っている様子が伺えた。	A
- 2 - (3) 排泄				
- 2 - (3) - 排泄介助は快適に行われている。	11	a b c	排泄に支援を必要とする利用者については、個別支援計画書に記載がされており、必要に応じた支援がなされている。	A
- 2 - (3) - トイレは清潔で快適である。	12	a b c	トイレに冷暖房設備はないが、内部は清潔に保たれ、利用者にとって安心して用便できる環境が保たれている。	A

評価基準		自己評価	訪問調査等による確認状況	評点
- 2 - (4) 衣服				
- 2 - (4) - 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	13	a b 児童が支援員引率で衣類購入を行う。 c	利用者の希望、季節に応じて職員が引率し、衣類を購入に外出をしている。	A
- 2 - (4) - 衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	14	a b 速やかに対応している。 c	日々の支援の中で、必要に応じ速やかに対応している。訪問調査時、夜間巡回においても対応する様子を伺うことができた。	A
- 2 - (5) 理容・美容				
- 2 - (5) - 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	15	a b 尊重して決定する。 c	髪型や朝の入浴等、事業所において決定することなく、利用者の希望を尊重し対応している。	A
- 2 - (5) - 理髪店や美容院の利用について配慮している。	16	a b 児童の状況に合わせた利用をしている。 c	月に1度訪問する散髪のボランティアを活用する以外に、利用者によっては外出して理容店や美容室に行くなど、希望に沿って支援している。	A
- 2 - (6) 睡眠				
- 2 - (6) - 安眠できるように配慮している。	17	a b 児童の状況に合わせて対応している。 c	入眠時に個別対応が必要な利用者に対しては、フロアに誘導して気持ちが落ち着くまで職員が見守る等、個々の利用者の状況に応じて配慮をしている。	A
- 2 - (7) 健康管理				
- 2 - (7) - 日常の健康管理は適切である。	18	a b 記録による健康管理がされている。 c	寮日誌に日々の利用者の様子を詳細に記録した後、個別のデータを個人記録、保健記録(医療面の記録)に分類している。事業所内の利用者の健康状況は、建物内にLANが構築されており、コンピュータ端末を通じて情報の共有化が図られている。	A
- 2 - (7) - 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	19	a b リスクマネジメントされている。 c	専属の医師が週2回往診する他、協力病院とも連携を図っている。緊急時の対応に万が一のことが生じないよう、体制が構築されていることが確認できた。	A

評価基準		自己評価	訪問調査等による確認状況	評点
- 2 - (7) - 内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	20	<input checked="" type="radio"/> a <input type="radio"/> b 投薬マニュアルあり。 <input type="radio"/> c	服薬については、複数の職員で確認をしながら慎重に進めている。誤薬発生時の対応フローチャートも作成されており、訪問調査時においても食事の際に服薬確認のために声を掛け合う職員の動きが確認できた。	A
- 2 - (8) 余暇・レクリエーション				
- 2 - (8) - 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	21	<input type="radio"/> a <input checked="" type="radio"/> b 利用者主体で行う行事はない。 <input type="radio"/> c	コミュニケーションの難しい利用者が多く、全ての余暇が利用者の希望に沿っているのかの判断は難しいが、サッカーやフライングディスクなど、利用者が積極的にレクリエーションに参加している様子を訪問調査時に確認することができた。	A
- 2 - (9) 外出、外泊				
- 2 - (9) - 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	22	<input type="radio"/> a <input checked="" type="radio"/> b 自治会がない <input type="radio"/> c	外泊については、家族との関係に配慮しながら対応をしている。個人別の外泊記録は事業報告に一覧表でとりまとめられている。	A
- 2 - (10) 所持金・預かり金の管理等				
- 2 - (10) - 預かり金について、適切な管理体制が作られている。	23	<input type="radio"/> a <input checked="" type="radio"/> b 個人が小遣いを管理する設備がない。一部児童が小遣い帳のみ記入。 <input type="radio"/> c	預かり金は「預かり金管理要綱」により管理されており、会計担当者が記録を取っている。預かり金を取り扱う職員はリーダーに一元化しており、管理体制は構築されている。金庫等特化した保管場所についてはまだ設置されていないが、家族への報告等は適切に行われている。	A
- 2 - (10) - 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	24	<input checked="" type="radio"/> a <input type="radio"/> b 児童の希望を尊重している。 <input type="radio"/> c	TV番組誌等、利用者の希望に応じて寮で購入し、利用者同士で共有している。個人的な希望についても対応するように配慮されている。	A
- 2 - (10) - 嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。	25	<input checked="" type="radio"/> a <input type="radio"/> b 児童施設なので酒、タバコ等の嗜好品等は該当せず。 <input type="radio"/> c	障がい児施設なので、酒・タバコは該当しない。おやつについてはある程度事業所内においてメニューを作成した上で提供されている。個人の好みは職員が把握している。	A